

報告事項ク

鳥取県立図書館電子書籍サービスの開始について

鳥取県立図書館電子書籍サービスの開始について、別紙のとおり報告します。

令和5年12月27日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

報告事項ク

鳥取県立図書館電子書籍サービスの開始について

令和5年12月27日
図 書 館

図書館では、遠隔地居住者の利便性やアフターコロナにおける利用者ニーズに配慮した非来館・非接触サービスの推進、図書館利用に困難のある方などの読書バリアフリー環境の充実、1人1台端末環境下における探究的な学習の充実等に資するため、電子書籍サービスを開始することを報告します。

1 サービス開始日

令和6年1月4日（木）

※令和5年12月1日（金）から令和6年1月3日（水）まで、読書バリアフリー対応等のための試験運用を行い、所要の調整等を行った上で本格的にサービスを開始する。

2 利用できる電子書籍

紀伊國屋書店の電子書籍「K i n o D e n」

※電子書籍を導入している都道府県立図書館の多く（18/23）が導入している。

※地元書店を経由しての購入が唯一可能であり、文字の読み上げにも広く対応している。

※貸出方式（期間占有）ではなく、閲覧方式を採用しており、閲覧者のアクセスが終了すれば読むことができる。

※鳥取県立図書館のカード保有者だけでなく、市町村立図書館や学校などのカードの保有者も利用可能であるため、県内どこに住んでいても利用できる。

3 利用可能冊数等

(1) 冊数 約1,500冊

※年度末までに計約1,800冊を購入し、来年度以降も毎年約1,000冊ずつ購入していく予定。

(2) 分野 専門書・学術書・英語多読用資料等

※事典、医学書、美術書など紙の書籍だと重くてかさ張るものも多いが、電子書籍であるため持ち運ぶことなく必要な時にすぐ調べられる。

※ガイドブックや図鑑などもスマホで閲覧できるため、少ない荷物で旅行や校外学習に出かけられる。

4 電子書籍の利点

- ・24時間いつでも利用可能
- ・文字の拡大が可能
- ・全文検索が可能（一部非対応）
- ・音声読み上げや印刷・ダウンロードが可能（一部非対応）

5 県内公共図書館の電子書籍導入状況

- ・鳥取市立図書館が令和4年12月に県内で初めて電子書籍（Librari-E）を導入した。
※鳥取市のほか、因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏（岩美町・若桜町・八頭町・智頭町・兵庫県香美町・新温泉町）の住民等が利用可能。
- ・鳥取県立図書館のサービス開始により、全県民の電子書籍利用が可能となる。

6 今後の予定

- ・関係機関（市町村立図書館、大学・高等学校・特別支援学校・病院図書室等）とともに広く県民への周知や働きかけを行い、利用の促進を図る。
- ・令和6年2月に実施予定のフォーラムなど、様々な手段を用いた広報を行っていく。